

# 7. 性格チェック

猫の場合は、犬のように明確な適性判断テストを行うということがまず不可能です。猫の世話をするスタッフが、ケージに移す時、日々のケアの際などに、どの程度人に慣れているか、性格や癖、好みなどを記録し、評価し、その情報を譲渡希望者に伝え、マッチングの参考にしていくことが実際的でしょう。

そしてその特徴を踏まえ、より譲渡されやすい猫にするための社会化やケアを適切に行っていきましょう。

## 性格チェックの方法

### 1：日常の観察

給餌や清掃など、日常のケアの中で、子猫がどんな反応を示すのかを注意して観察するようにしましょう。気づいた点があれば、個体管理シートに記入しておくといいでしょう。



### 2：チェックリストで把握

施設で統一した性格チェックリストを作り、その項目に従って、個体ごとにチェックしてみましょう。同じ基準で行うことによって、それぞれの特徴を把握しやすくなります。



① 猫のケージに近づき、様子を観察する



② やさしく声をかけながら、ケージに手を近付け、猫を誘ってみる



③ 扉を開けて、猫の体を直接触ってみる  
＊このとき、逃亡されないように、扉は小さく開けるなどの注意をする



④ やさしく抱きあげてみる



⑤ 扉を閉め、猫用のおもちゃで遊びに誘ってみる



# 性格チェックにおける猫の行動パターン

性格チェック①～⑤の反応でよく見られる行動を表にしました。  
わかりやすいように「活発な猫」「ノーマルな猫」「シャイな猫」の大きく3つに分類してあります。

| チェック項目             | 「活発な猫」<br>によく見られる行動  | 「ノーマルな猫」<br>によく見られる行動  | 「シャイな猫」<br>によく見られる行動  |
|--------------------|--|--|---|
| 1<br>人が近づく         | <ul style="list-style-type: none"><li>● すぐに寄ってくる</li><li>● 喉を鳴らす</li><li>● 甘えた声を出す</li><li>● しっぽをたてる</li><li>● 体を扉に擦りつける など</li></ul>      | <ul style="list-style-type: none"><li>● 人を見ている</li><li>● しばらくして寄ってくる</li><li>● 扉の近くまで来る</li><li>● 興味深そうに近づく</li><li>● 声を出す など</li></ul>                    | <ul style="list-style-type: none"><li>● ケージの隅まで逃げる</li><li>● 隅でかたまっている</li><li>● 体を小さくしている</li><li>● 瞳孔が開く など</li></ul>   |
| 2<br>猫を誘う          | <ul style="list-style-type: none"><li>● 体全体を指に擦り付ける</li><li>● 頸や頬を指に擦り付ける</li><li>● 喉を鳴らす</li><li>● 甘噛みをする</li><li>● 前足でじゃれる など</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 指の匂いをかぐ</li><li>● 指の動きを見ている</li><li>● 寄ってきたり離れたりする</li><li>● 落ち着きなく左右に動く</li><li>● 遠巻きに見ている など</li></ul>           | <ul style="list-style-type: none"><li>● 隅でかたまっている</li><li>● さらに奥に逃げようとする</li><li>● 体の姿勢が低くなる</li><li>● 顔をそらす</li><li>● 瞳孔が開く</li><li>● 毛が逆立つ など</li></ul>                             |
| 3<br>扉を開けて<br>体を触る | <ul style="list-style-type: none"><li>● 扉から飛び出ようとする</li><li>● 人の手に体を擦り付ける</li><li>● 仰向けになってじゃれる</li><li>● 甘噛みをする など</li></ul>              | <ul style="list-style-type: none"><li>● 手に寄ってくる</li><li>● 気持ちのいい場所は受け入れ、いやなところを触れられると離れる</li><li>● 手の動きを見ている</li><li>● 近づいたり、離れたりを繰り返す など</li></ul>        | <ul style="list-style-type: none"><li>● びくっとする</li><li>● 顔をそむける</li><li>● 毛が逆立つ</li><li>● 耳が後ろに倒れる</li><li>● 触られてもかたまっている</li><li>● 触られると皮膚がぴくぴく動く</li><li>● ゆっくり逃げようとする など</li></ul> |
| 4<br>抱き上げる         | <ul style="list-style-type: none"><li>● 腕のなかでもがく</li><li>● じっとしていない</li><li>● 床に飛び降りようとする</li><li>● 周りに興味を示す</li><li>● 人にじゃれる など</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 一瞬抱かれるが、すぐにケージに戻る</li><li>● しつこくすると嫌がる</li><li>● 大人しく受け入れる</li><li>● 周りを警戒する</li><li>● 人との接触に徐々に慣れてくる など</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 逃げ回って抱けない</li><li>● かたまる</li><li>● 震える</li><li>● 心拍数が上がる</li><li>● 必死にケージに戻ろうとする</li><li>● 爪をたてる など</li></ul>                                 |
| 5<br>おもちゃで<br>遊ぶ   | <ul style="list-style-type: none"><li>● よくじゃれる</li><li>● ジャンプする</li><li>● 集中して飽きずに遊ぶ など</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>● しばらく目で追う</li><li>● じゃれる</li><li>● 周囲が気になるとやめる</li><li>● 短時間で飽きる など</li></ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"><li>● かたまっている</li><li>● 顔をそむける</li><li>● 姿勢を低くして、目だけで動きを追う</li><li>● おもちゃを動かしている人から視線を外さない(恐怖) など</li></ul>   |

## ！性格チェックをするときの注意

ここに記したのは、よく見られる行動の一部です。このほかにも、猫によってさまざまな行動が見られます。ひとつ行動に固執して性格を判定するのではなく、猫全体の動きや表情をよく観察し、日常の様子や他のスタッフの意見を参考に、総合的に考えてください。

また、収容期間中に何度かチェックを行うと、猫の反応が変化していくことに気づくでしょう。

特に成長期にある子猫の性格は、確実に固まったものではなく、環境や人に慣れてくることで、急激に変化する場合多くみられます。収容された初日に、人を見て威嚇していた子猫が2～3日後には、人に擦り寄ってくるというような大きな変化もよくあります。

## 3タイプの猫の性格とマッチングのイメージ

性格チェックの反応を踏まえて3つのタイプに分け、それぞれのタイプに向いている家庭のイメージを考えてみましょう。

### 🐾 活発なタイプ



人や環境にじみやすく、様々な事に興味を示します。人に抱かれることを受け入れます。子猫の場合は、のどを鳴らしながらじっとしていたかと思えば、歯や爪を使っての遊びをはじめたり、なかなか落ち着きません。他の猫を遊びに誘ったり、オモチャに活発にじゃれつくなどの行動もよく見受けられます。人が近づくと、ケージの柵越しに体をすりつけ、よく鳴く個体も多いでしょう。成猫では、ここまで活発に動く猫は少ないのでしょう。

#### 向いている家庭は・・・

家族が多く、猫に時間を割き、かまってあげられる家庭向きです。お年寄りだけの静かな家庭には不向きです。遊びに時間を多くとれる家庭に譲渡しないとエネルギーの発散不足で、人の体への甘噉みや遊びでのひっかきがエスカレートする可能性も高くなります。猫のいたずらや室内での落ち着きのなさ（発散のために走り回る等）を環境的にも受け入れられる人がいいでしょう。

### 🐾 ノーマルなタイプ



人や新しい環境に対して最初はうずくまつたり、緊張しつつ相手を観察していますが、少し時間がたつたり、接触時間が増えるにつれ徐々に慣れ、落ち着いてきます。良く慣れた人や猫、オモチャには積極的なアプローチが見られます。逆に見知らぬものには、はじめは慎重になる個体が多いでしょう。

#### 向いている家庭は・・・

落ち着いたこのタイプは、多くの家庭にも馴染むでしょう。ただし、猫は新しい環境に慣れるのが苦手な動物です。施設では人に慣れているようでも、譲渡先ではなかなか慣れてくれない、という場合もあるでしょう。無理強いせずに、ゆっくりと様子を見守ってくれるようにアドバイスするのを忘れずに。

### 🐾 シャイなタイプ



人や新しい環境に対して、固まる、逃げるなどの恐怖反応を示します。人の手が近づくとより体を小さくし、威嚇のために唸り声や威嚇音を発することもあります。狭いケージの中では常にケージの奥に居て、隠れられるような場所があればその

中に身を潜めようとします。数日～数週間、怖がらせることを極力避け、根気よく穏やかに接し、フードを与える時間やオモチャで遊ぶ時間等を利用して慣らしていくことで、猫の様子に変化が見られることが多いでしょう。

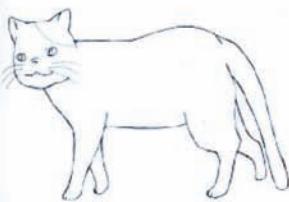
#### 向いている家庭は・・・

子供のいない、静かな大人だけの家庭向き。留守がちでもかまいませんが、ゆっくりと気長に根気づよく猫が慣れるまで穏やかに接してくれる家庭がいいでしょう。以前に猫と暮らした経験が豊富な方や、同じようなシャイな猫と暮らした経験のある人ならよりよいでしょう。また、慣らすのに時間がかかりそうであれば、民間の動物愛護団体へ団体譲渡し、適切なケアをしてもらいながら、その後の譲渡を検討してもいいでしょう。

# 猫のボディランゲージ

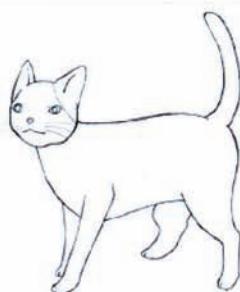
猫を扱う際には、常に猫の様子を観察しボディランゲージを読み取ることが大事です。ボディランゲージとは、猫同士がコミュニケーションをとるための手段で、体の各部分の微妙な動きや、体の姿勢、相手との距離の取り方、動き方などで気分や意図を表現します。いわば、猫にとっての「ことば」です。以下のイラストは、代表的な猫のボディランゲージです。性格チェックを行う際、ケアを行う際には、こうしたボディランゲージに注目してください。

## 1 平常な状態



全身に力が入っていない／尾は自然な状態で下がっている

## 2 喜び



尾を高く上げる／喉を鳴らす／  
体を擡り寄せる／軽い甘噛みが  
ある

## 3 恐怖



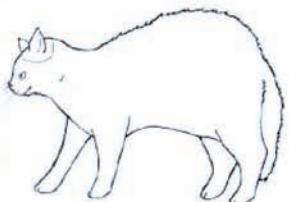
体を低く小さくする／体を後ろに引く／耳を倒す／瞳孔が開く

## 4 恐怖による威嚇



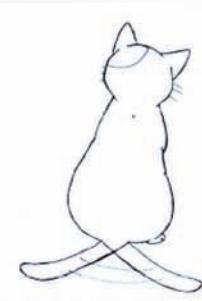
体が弓なりになる／尾がブランシ状になる／完全に耳を倒す／瞳孔が開く／口角を後ろに引く

## 5 攻撃（能動的）



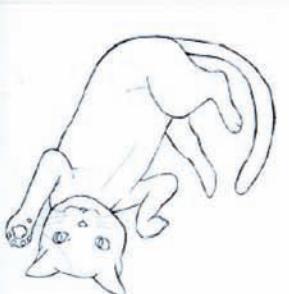
体を大きく見せる／前のめりの姿勢になる／耳を前に倒す／低いなり声／相手ににじり寄る

## 6 不快



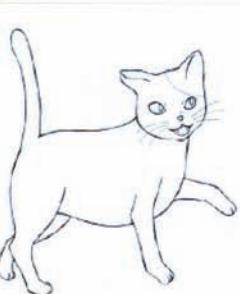
尾を左右に振る／耳がびくびく動く

## 7 遊びに誘う



仰向ける／全身に力が入っていない／突然甘噛みをする／じゃれる

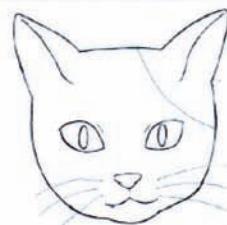
## 8 遊びに誘う



尾をたてる／尾をくねらせる／前足でちょっかいをだす

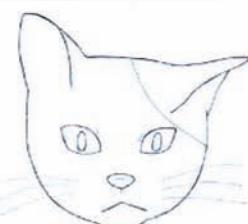
## 表情の変化

### 1 リラックス



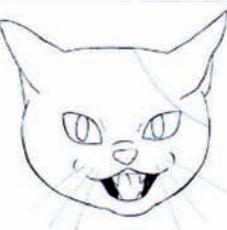
力が入っていない／瞳孔は閉じている／耳は自然な状態で前を向いている

### 2 不安・緊張・葛藤



耳がびくびく動く／口元がやや緊張する

### 3 恐怖による威嚇



耳が後ろに倒れる／瞳孔が開き始める／唸り声、威嚇音

### 4 恐怖による攻撃



耳が完全に倒れる／口角が後ろにひかれる／瞳孔が開く